

鷹取山で自然観察会のプログラム紹介

鷹取山は、かつて薪や炭をとるために利用してきたコナラ、クヌギ、イヌシデ、オオシマザクラなど落葉広葉樹が多く見られる里山です。林内にはガマズミ、マルバウツギ、マユミなどの低木、林床には四季を通じて草花が見られ、鷹取山には野鳥や昆虫など多くの生き物が生息しています。



① 鷹取山の自然観察ガイドを参照し、季節ごとの自然を解説しながら鷹取山を歩きます。

② 五感を使って自然観察をします。樹木には、スダジイ、アカガシ、タブノキなどの常緑樹と、コナラ、ケヤキ、エノキなど落葉樹との違いを学習します。また、クサギ、ヤブニッケイ、クスノキ、カラスザンショウ、ヘクソカズラなど独特の匂いの葉や、ニガキという木の葉は噛むとすごく苦いなど、触ったり、匂いを嗅いだりして違いを観察します。



③ 子供達には自然観察ビンゴ表により歩きながら季節の生き物を発見し、ビンゴを行いながら自然との触れ合いを行います。

④ 鷹取山周辺には多くの蝶がみられます。また、コナラ、クヌギの樹液に集まるカブトムシ、クワガタムシ、カナブン、タテハチョウの仲間も多くみられるかもしれません。



鷹取山自然観察会の活動は当会のホームページをご覧ください。

鷹取山自然観察会

検索

